

# 世界水準の山岳高原観光地づくり重点支援事業について

山岳高原観光課

## 1 各地域の目指す姿

### 信越9市町村

#### 手ぶらで来て楽しめる「アクティビティの聖地」

日本の原風景ともいえる里山文化が残された広大な文化圏と、9市町村の連携体制を活かし、ワンストップサービスや独自の滞在型観光スタイルの実現により、広域連携の先進モデルになることを目指す

- 日本の原風景“信越自然郷”～千年風土の豊穡の地～
- [独自の価値] ○多彩なアウトドア・アクティビティ
- 北陸新幹線飯山駅開業による観光拠点の誕生



### 北アルプス3市村

#### 「HAKUBA VALLEY」と「立山黒部アルペンルート」 2大ブランドを活かした長期滞在型観光地

白馬に訪れる欧米からの観光客と、立山黒部アルペンルートに訪れるアジアからの観光客をエリア内で相互に周遊・滞在させる

- 世界的ブランドのスノーリゾート「HAKUBA VALLEY」
- [独自の価値] ○世界有数の山岳観光地「立山黒部アルペンルート」
- 白馬のおもてなしに世界から高い評価



### 木曽町

#### 御嶽の神秘と街道文化～Local な魅力を Global に～

御嶽山の信仰や中山道の歴史など日本らしい文化的資源を活かした山岳高原観光地づくりと、御嶽山噴火災害を踏まえた世界最高レベルの安全登山対策を実現

- 信仰を中心とした神秘的でスピリチュアルな雰囲気
- [独自の価値] ○澄んだ水、空気など透明感のある冷涼な高原地帯
- 中山道の街道と宿場・関所の歴史的なまちなみ
- 脈々と受け継がれるほお葉料理やすんきなどの伝統的な食文化



## 2 H27 の取り組み

### 【課題】

- ①世界水準の山岳高原観光地として「目指す姿」の確立と地域での共有
- ②目指す姿に向けた取り組みの明示

⇒現状と目指す姿のギャップを埋めるために必要な施策を検討し位置付け

### 【H27】世界水準に向けた意識の共有と施策の検討

アドバイザー派遣、アドバイザー会議により地域の議論を深化 ⇒

議論の結果を事業化  
(補正予算も視野)

#### (1) 議論の主体

| 重点支援地域   | 推進体制              | 事務局            | 構成する主体                       |
|----------|-------------------|----------------|------------------------------|
| 信越9市町村   | 信越9市町村広域観光連携会議    | 飯山市<br>広域観光推進室 | 市町村、観光協会、観光事業者、交通事業者、地域住民等   |
| 北アルプス3市村 | 北アルプス3市村ブランド構築委員会 | 白馬村<br>観光課     | 市村、観光事業者(スキー場、ホテル)、地域住民、外国人等 |
| 木曽町      | 木曽町(地域戦略会議)       | 木曽町<br>観光交流課   | 木曽町、観光事業者(スキー場)、まちづくり会社等     |

#### (2) 主な論点

- 目指す姿 …世界水準の姿を具体的に明示
- 現状からのプロセス …目指す姿を達成するための工程を明示
- 中核事業 …核となる事業の明確化
- 地域の巻き込み …行政だけではなく多様な主体で議論

### 【H28以降】世界水準に向けた取り組みの実施

⇒ 効果の検証と再構成 ⇒ より高い水準へ ⇒ 世界水準の山岳高原観光地へ